

科目名	ソーシャルワークの理論と方法（社会福祉士必修）		
授業形態	講義	学年	1
開講時期	2023年度 後期～2024年度 前期	単位数	4
担当教員	木村 淳也		
内容および計画	<p>[授業のねらい]</p> <p>① 人と環境との交互作用に関する理論とマイクロ・メゾ・マクロレベルにおけるソーシャルワークについて理解する。</p> <p>② ソーシャルワークの様々な実践モデルとアプローチについて理解する。</p> <p>③ ソーシャルワークの過程とそれに係る知識と技術について理解する。</p> <p>④ コミュニティワークの概念とその展開について理解する。</p> <p>⑤ ソーシャルワークにおけるスーパービジョンについて理解する。</p> <p>[授業の概要]</p> <p>本講義では、ソーシャルワークに関連する専門職の価値、倫理をはじめとして、相談援助に関する基盤について学ぶ。さまざまな援助の進め方、専門的援助技術の体系を本講義で学び、クライアントに適切にかかわる方法を選択する力を育む。</p>		
1	イントロダクション ソーシャルワークの理論と方法を学ぶとは		
2	ソーシャルワークとは何か① ソーシャルワークの定義と役割		
3	ソーシャルワークとは何か② ソーシャルワークを構成する要素		
4	ソーシャルワークの構造と機能① ソーシャルワークの構造		
5	ソーシャルワークの構造と機能② ソーシャルワークのニーズ		
6	ソーシャルワークの構造と機能③ ソーシャルワークの機能		
7	人と環境との交互作用に関する理論		
8	マイクロ・メゾ・マクロレベルにおけるソーシャルワーク		
9	さまざまな実践モデルとアプローチ① 心理社会的アプローチ、機能的アプローチ		
10	さまざまな実践モデルとアプローチ② 問題解決アプローチ、課題中心アプローチ		
11	さまざまな実践モデルとアプローチ③ 危機介入アプローチ、行動変容アプローチ		
12	さまざまな実践モデルとアプローチ④ エンパワメントアプローチ		
13	さまざまな実践モデルとアプローチ⑤ ナラティブアプローチ、解決志向アプローチ		
14	ソーシャルワークの展開過程① ソーシャルワークの展開過程とは何か		
15	ソーシャルワークの展開過程② ケースの発見からインテーク		
16	ソーシャルワークの展開過程③ ニーズの把握からアセスメント		
17	ソーシャルワークの展開過程④ アセスメントからプランニング		
18	ソーシャルワークの展開過程⑤ モニタリングからターミネーション		
19	ソーシャルワークのための記録の技術① 目的と種類		
20	ソーシャルワークのための記録の技術② 実際例と課題		
21	ケース（ケア）マネジメント① ケース（ケア）マネジメントの基本と過程		
22	ケース（ケア）マネジメント② アセスメントとプランニング		
23	ケース（ケア）マネジメント③ ケース（ケア）マネジメントの特徴		
24	グループを活用したソーシャルワーク① グループワークの意義と目的		
25	グループを活用したソーシャルワーク② 自助グループ		
26	コミュニティワーク コミュニティワークの意義と目的		
27	スーパービジョンとコンサルテーション① スーパービジョンの意義と目的		
28	スーパービジョンとコンサルテーション② スーパービジョンの方法と留意点		
29	スーパービジョンとコンサルテーション③ コンサルテーションの意義と目的		
30	まとめ		
教科書			

タイトル	著者名	出版社	ISBN	発行年
『ソーシャルワークの理論と方法[共通科目]』 (最新 社会福祉士養成講座12)	一般社団法人 日本 ソーシャルワーク学 校教育連盟 編	中央法規	0	2021
参考書	<ul style="list-style-type: none"> ・「知りたい、ソーシャルワーカーの仕事」、岩波ブックレット、2015 ・「ソーシャルワーカーのジリツ」、生活書院、2015 ・「ソーシャルワーカーのソダチ」、生活書院、2017 ・「ソーシャルワーク論ー理論と方法の基礎ー」、ミネルヴァ書房、2021 			
成績評価				
評価方法			割合(%)	
課題別レポート、提出物 (リアクションペーパーを含む)			20	
期末レポート			80	
学習到達目標	[到達目標] ① 人と環境との交互作用に関する理論とマイクロ・メゾ・マクロレベルにおけるソーシャルワークについて説明できる。 ② ソーシャルワークの様々な実践モデルとアプローチについて説明できる。 ③ ソーシャルワークの過程とそれに係る知識と技術について説明できる。 ④ コミュニティワークの概念とその展開について説明できる。 ⑤ ソーシャルワークにおけるスーパービジョンについて説明できる。			
先修条件				
実務経験	実務経験有り： 福島県教育委員会 スクールソーシャルワーカースーパーバイザー 本宮市教育委員会 スクールソーシャルワーカースーパーバイザー 等、相談援助業務の経験を活かしソーシャルワーク関連科目を担当している。			
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・新聞などで身近な福祉に関する課題について知識を得るよう心がけてください。 ・授業では自分の意見を大切にすると共に、他者の意見も大切にしよう心がけてください。 ・参考資料、配布資料等を用いて、復習、予習を心がけてください。 ・授業内で ICT 機器 (スマホ、タブレット等) を使用する場合もあるため各自持参ください。 			